

令和7年度 公共工事の環境負荷低減施策推進委員会（第1回）

議事要旨

開催日時：令和7年10月21日（火）15:00～16:50

場所：国土交通省会議室・WEB会議（Microsoft Teams）併用

2. 審議事項

(1) 環境物品等の調達に関する基本方針の改定案（公共工事関係）

- ・評価基準（※）の「3.（5）競争性が確保されない等、調達に支障がある」に該当する提案品目は、将来、特定調達品目指定後の普及拡大による競争性の確保を考慮しても良いのではないか。

⇒提案品目毎に調達コストや見通しが異なることから、本委員会での審議を踏まえ判断したい。

- ・調達コストが高いものの環境負荷低減効果も高い提案品目の取扱いのあり方について検討をしても良いのではないか。

⇒公共工事と環境負荷低減効果のコストバランスについては今後の検討課題としたい。

- ・評価基準（※）の「6. 普及評価」について、供給地域が限定されるものの環境負荷低減効果のある提案品目の取扱いについて検討をしても良いのではないか。地域限定で試運用する方法も考えられる。

⇒現在の評価基準（※）では、「原則全国10地方整備局等で全エリアに供給が可能であることが必要」としているが、提案品目毎に供給地域が限定される理由・性質が異なるため、今後の検討課題としたい。

- ・今回妥当と判断しなかった提案品目について、次回以降の提案に向けて提案者にもその理由を理解してもらうべき。

⇒基本方針公表後、提案者から問合せ等があれば適切に対応する。

- ・今回の新規提案品目及び継続検討品目の審査結果について、承認する。

※：グリーン購入法の公共工事の技術的評価基準

3. 報告事項

(1) 特定調達品目の判断の基準について

- ・ 公共工事においても、空調用機器などの性能・仕様を明確に示せる品目は「二段階評価」が適用できる可能性がある。
- ・ 環境物品等の調達の取組みは、社会環境全体に良い影響を与えるので、公共工事においても引き続き推進してほしい。

以上